

## 平成31年度当初予算知事審査における主要な議論（農林部）

### ■ 農業法人グレードアップ事業（B51）

#### 埼玉野菜プレミアム産地づくり事業（B52）

知事 この15年間で埼玉県全体のGDPが10%増加しているにもかかわらず、農業産出額は15年前の2,000億円前後にとどまっている。利幅が上がっている品目を分析して儲かる品目に誘導していくなど、戦略的に考えていく必要がある。

担当部局 今回は露地野菜のうち、ねぎ、たまねぎ、白菜など加工需要が伸びている12品目を対象に支援していく。例えば、ねぎは機械化により生産性が上がっている。面積を拡大することで販売額が上がり、コストが下がることで利幅を上げることができる。

埼玉では、関東近県と比較して大規模農家が担う作付面積が少ない。規模を拡大しないと低コストや生産量の増を実現できないため、県全体の農地の4割位を3ha規模のしっかりした経営体に集約する必要がある。

知事 農地の集積を自然に任せては進捗が遅れる。県は具体的にどのような支援をしていくのか。

担当部局 機械導入の補助により規模の拡大を支援する。年間28地区、5年間で140地区の支援を想定している。3ha規模の農家が担う面積を年間150～200ha、5年間で1,000ha位増やしていきたい。

### ■ 公共事業（B84、B85、B89～B99、B102）

知事 箇所選定の順番はどう決めているのか。

担当部局 地元の要請や県が現地を見て、必要性が高いところを選定している。流木対策は、3年で21か所行う。

知事 整備効果を上げられるように重点化すべき箇所をよく分析するように。

# 平成31年度予算見積調書

課室名：農業支援課  
 担当名：経営体支援担当  
 内線：4055

(単位：千円)

番号	事業名	会計	款	項	目	説明事業	
B51	農業法人グレードアップ事業	一般会計	農林水産業費	農業費	農業経営普及費	中核的担い手農家育成対策費	
事業期間	平成31年度～平成33年度	根拠法令		宣言項目	09 儲かる農業の推進		
				分野施策	040936 農業の担い手育成と生産基盤の強化		
<p>1 事業概要</p> <p>産地の核となり、継続して農業生産を行う農業法人の役割はますます高まっている。                  そこで、高い経営力を有する農業法人の経営者を育成し、将来に向けた埼玉農業の担い手を確保する。</p> <p>(1) 農業法人グレードアップ事業 12,876千円</p>		<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容                  農業法人グレードアップ事業 12,876千円                  経営発展を目指す農業法人等を対象に、経営者のレベルに合わせ、社長塾と農業経営塾を開講する。                  また、卒塾生のネットワーク構築を支援する。</p> <p>(2) 事業計画                  社長塾・農業経営塾の開講 各塾年1回実施                  卒塾生のネットワーク構築の支援</p> <p>(3) 事業効果                  儲かる農業を実現するため、経営発展を目指す農業法人が社長塾や農業経営塾を受講することにより、高い経営力を有する人財の育成が図られ、経営力の向上や経営発展につなげることができる。</p>					
<p>2 事業主体及び負担区分</p> <p>事業主体：県                  負担区分：(県10/10)</p>							
<p>3 地方財政措置の状況</p>							
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員                  9,500千円×1人=9,500千円</p>							
予算額		財 源 内 訳				一般財源	前年との 対比
		諸 収 入					
決定額	12,876	1,200				11,676	12,876
前年額	0					0	

# 平成31年度予算見積調書

課室名：生産振興課  
 担当名：総務・野菜担当  
 内線：4082

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B52	埼玉野菜プレミアム産地づくり事業			一般会計	農林水産業費	農業費	園芸農産振興費	埼玉園芸生産力強化支援費	
事業期間	平成31年度～平成35年度	根拠法令	なし				宣言項目分野施策	09 儲かる農業の推進	040937 強みを生かした収益力ある農業の確立
1 事業概要 産地の核となる農業法人等が中心となって規模拡大が見込める品目等に注力し、農地の集約化により埼玉野菜の生産拡大を図るとともに、多様なマーケット需要に応えられる、儲かる農業を実現するプレミアム産地への進化を図る。  (1) 産地育成推進事業 5,610千円 (2) プレミアム産地育成支援事業 58,300千円 (3) セミプレミアム産地育成支援事業 35,000千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 産地育成推進事業 5,610千円 (ア) 多様なマーケット需要に応えられる産地への進化に向けた生産対策の推進 (イ) 機械化一貫体系の調査・研究 (ウ) 品種、栽培方法の調査・研究 イ プレミアム産地育成支援事業 58,300千円 機械・施設の導入支援 ウ セミプレミアム産地育成支援事業 35,000千円 機械・施設の導入支援 (2) 事業計画 ア 産地育成推進事業 多様なマーケット需要に応える産地への進化に対する戦略や方向性の検討、機械化一貫体系導入に向けた栽培実証、機械化一貫体系に適した品種・栽培方法の検討 イ プレミアム産地育成支援事業 露地野菜の生産拡大に取り組み、規模拡大が見込める品目等に注力し、多様なマーケット需要に応えられるプレミアム産地へ進化のための育成支援 ウ セミプレミアム産地育成支援事業 露地野菜の生産拡大に取り組み、規模拡大が見込める品目等に注力し、セミプレミアム産地へ進化のための育成支援 (3) 事業効果 経営規模が3ha以上の農業法人等が担う経営耕地面積の増加 成果目標 22% → 36% 年間を通じた需要がある12品目の農業産出額 成果目標 646億円 → 705億円 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 食品関連業者、量販店等との連携による埼玉野菜の安定生産、販売の実施					
2 事業主体及び負担区分 (1) (県10/10) (2) (県1/2等) 市0・農業法人等1/2等 (3) (県1/2等) 市0・農業法人等1/2等									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×3.0人=28,500千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との対比
決定額	98,910							98,910	98,910
前年額	0							0	

# 平成31年度予算見積調書

課室名：森づくり課、農村整備課  
 担当名：治山・森林管理道担当、水利施設整備担当等  
 内線：4314・4347 (単位：千円)

番号	事業名	会計	款	項	目	説明事業																											
B84, B85, B89~B99, B102	公共事業（農林部）	一般会計	農林水産業費	林業費等	林道費等	公共事業（農林部）																											
事業期間	根拠法令	森林法、土地改良法		宣言項目																													
				分野施策																													
1 事業概要 (1) 森林管理道 799,443千円 (2) 治山 577,364千円 (3) 農業基盤 6,299,932千円	5 事業説明 (単位：千円)																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th rowspan="2">平成31年度 要求額</th> <th rowspan="2">平成30年度 当初予算額</th> <th colspan="2">対前年度比較</th> </tr> <tr> <th>増減額</th> <th>( 伸び率 )</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>森 林 管 理 道</td> <td>799,443</td> <td>799,886</td> <td>▲ 443</td> <td>( ▲0.1% )</td> </tr> <tr> <td>治 山</td> <td>577,364</td> <td>578,293</td> <td>▲ 929</td> <td>( ▲0.2% )</td> </tr> <tr> <td>農 業 基 盤</td> <td>6,299,932</td> <td>5,787,343</td> <td>512,589</td> <td>( +8.9% )</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>7,676,739</td> <td>7,165,522</td> <td>511,217</td> <td>( +7.1% )</td> </tr> </tbody> </table>					区 分	平成31年度 要求額	平成30年度 当初予算額	対前年度比較		増減額	( 伸び率 )	森 林 管 理 道	799,443	799,886	▲ 443	( ▲0.1% )	治 山	577,364	578,293	▲ 929	( ▲0.2% )	農 業 基 盤	6,299,932	5,787,343	512,589	( +8.9% )	合 計	7,676,739	7,165,522	511,217	( +7.1% )
区 分	平成31年度 要求額	平成30年度 当初予算額	対前年度比較																														
			増減額	( 伸び率 )																													
森 林 管 理 道	799,443	799,886	▲ 443	( ▲0.1% )																													
治 山	577,364	578,293	▲ 929	( ▲0.2% )																													
農 業 基 盤	6,299,932	5,787,343	512,589	( +8.9% )																													
合 計	7,676,739	7,165,522	511,217	( +7.1% )																													
2 事業主体及び負担区分 (県10/10) 等	(重点的な取組) ア 防災対策の推進 205,328千円 森林管理道における橋梁・トンネル等の長寿命化対策の推進、治山施設による流木災害予防の自然災害防止 イ 農地の大区画化、水利施設の長寿命化 3,192,045千円 農地の大区画化と集積により担い手を育成（閩戸地区(蓮田市)ほか12地区) 老朽化した基幹的水利施設を補修により長寿命化（豊里東部排水機場地区(深谷市)ほか17地区) ウ 農業用ため池の耐震化と計画的な保全管理 1,568,024千円 地震や豪雨等による災害を未然に防止（姿地区(横瀬町)ほか27地区)																																
3 地方財政措置の状況 公共事業等債 等 充当率90%（通常分50% 財対分40%） 交付税措置 財対分 50%	(経済波及効果) 13,655百万円(速報値)																																
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員																																	
予算額		財 源 内 訳				一般財源	前年との 対比																										
		国庫支出金	分担金 及び負担金	諸収入	県債																												
決定額	7,676,739	3,434,970	1,004,216		2,922,000	315,553	511,217																										
前年額	7,165,522	2,912,917	964,350	29,000	2,924,000	335,255																											